

あさかぜ

高知学芸高等学校同窓会関東支部

機関誌 37号

2024.10

〒170-0003

東京都豊島区駒込

4-2-34 中城千秋

TEL. 03-5974-2074

第37回関東支部総会は 10月26日(土)に学士会館で 下一桁4の期が幹事となって開催します！

- 第36回（2023年）関東支部総会レポート
- 特別授業「学芸からオリンピックに挑戦、その挑戦から得たもの」坂東 真夕子氏（37期）
- 第36回（2023年）関東支部同窓会写真特集
- SPECIALインタビュー「サラリーマンから経営者への歩み」山村 章夫氏（4期）
- 各期の声
- 16期生 卒業50周年のお知らせ
- 懇親会への景品寄付のお願い
- 第37回 関東支部総会 特別授業の講師紹介
- 高知学芸高校同窓会 第37回関東支部総会のご案内

第36回（2023年） 関東支部総会 開催

昨年10月28日（土）に東京都の学士会館で71名の参加を得て、第36回総会を4年振りに対面で開催しました。来賓として、同窓会本部からは西川博行同窓会長（6期）、福田恵美副会長（6期）が、学校からは橋本和紀校長先生、森下表先生（社会・同窓会副会長兼任）、蒲原宜彦先生（英語・同窓会会計兼任）が参加されました。

第1部の総会（対面とオンラインでの開催）は、議長の國見昌宏氏（1期）と司会の伊野部京子氏（23期）



石川前支部長（左）と中城新支部長（右）

の進行で行われました。今回は、活動報告、会計報告、会計監査報告に加え、役員改選が行われ、約10年にわたり支部長を担われた石川明男氏（6期）の後任として、中城千秋氏（18期）が選出されました。中城新支部長からは、就任の挨拶を頂きました。

「長きに渡り支部を率いてくださった石川支部長には感謝の念でいっぱいです。ありがとうございました。今回若手の方からお話をいただき、私の得意とする立ち位置ではないのですが、お引き受けすることに致しました。

昨年支部総会でご講演いただいたシンガポールで活躍されている井上先輩から、「他の高校で生徒、先生20名くらいでシンガポールに来て、卒業生の仕事先などで話を聞く研修があるが、学芸の卒業生の僕のところにも来て講義をすることになっている。学芸はどんな活動をしているのか？」と聞かれました。

今は情報社会で高知にいても東京の動きや海外の情報が入ってきますが、これからはより一層グローバルな視点を持つこと、自分の目で耳で知ることが必要になってくると思います。かねてから、在校生の皆さん



同窓会本部 西川会長

や若い卒業生の皆さんに、関東支部の私たちが何かお役に立てることはないかなと考えていたことの一つかもしれません。これ以外にもお役に立てることを、新しいメンバーで色々考えるチャンスを感じたと考えております。

これまで関東支部が育ててきた芽をさらに伸ばしながら、学芸の卒業生で良かった、同窓会があつて良かったと思っていただけのように、新しいメンバーで頑張つてまいりますので、学校の先生方、同窓会本部の皆様、ご臨席の卒業生の皆様、今後ともご支援のほどどうぞよろしくお願い致します。

西川同窓会本部会長からは、同窓会の状況や、高知の明るい話題について、ご紹介頂きました。

「本部総会・幹事会・執行会を3年間見送りましたが、3月に執行会を開催し、今年の総会・幹事会は対面で行う合意をしました。7月8日

に幹事会を高知会館で開催し、約90名に参加して頂きました。8月5日には本部総会を新阪急ホテルで開催し、約190名の参加を頂き、学芸愛に溢れ、大変喜ばれました。

今年の4月から9月までNHKの朝ドラ「らんまん」が放映され、地元の高知でも大変盛り上がりました。牧野博士の故郷である佐川町はもとより、高知市、県下の市町村、高知県の皆さんが支援し、大変心強く思いました。また新聞等によると、朝ドラ効果があつた県内の観光客が未だに増えているという報道もあり、大変嬉しく思っております。

昨年、学校創立65周年の節目を迎えました。皆様ともども同窓会の旗のもとに結集し、母校の発展に大いに貢献して参ろうではありませんか。どうぞよろしくお願いします。

橋本校長先生からは、学校の近況についてお話し頂きました。

「今年、コロナの対応はインフルエンザと同様となり、ほぼコロナ前の教育活動ができるようになっていきます。夏休み明けの9月には、久しぶりに通常の内容で体育祭を開催しました。オーストラリアの姉妹校との交流も再開し、9月下旬から10月上旬まで姉妹校から20名の高校生が



橋本校長先生

来高し、本校生徒の家庭でホームステイをしながら、学校で交流し、学内も刺激を受けて大変良かったと思っております。来年は学芸から姉妹校に約20名留学予定です。

今年、学芸初という生徒の活躍がありました。高知県展の洋画部門で、特選3名のうち2名が、本校の高校生でした。コーラス部は、全日本合唱コンクールに中学・高校揃って、四国代表として全国大会に出場しました。華道部は、花いけバトルという5分間で花を活けて勝敗をつける大会に、今年1月に初めて全国大会に出場し、続いて、5月にも全国大会に出場しました。また、県外の国際シンポジウムという全国大会で今年初めて研究発表することができました。

学校の新たな取り組みとして、今年2月から「Gスタッフ」という取り組みを始めました。放課後の自学自習で色々アドバイスしたり、質

問会をしたりする教室を設けました。学校での指導は今まで通りですが、自学自習、家庭での学習が十分やれていない生徒をサポートし、自分からやれる、という学習体験をさせたいと思っております。

先ほどの中城新支部長の話にもありましたが、オーストラリアの姉妹校との留学だけではなく、地域や色々な場所の方々と交流することも、今後やっていきたいと、皆さんのご協力をお願いすることもあります。

地方は子供の数がどんどん減っています。私学にとっては、生徒の減少に繋がるので大きな課題です。今まで以上に学校の魅力を打ち出して、生徒募集をアピールしないといけない時代になってきています。もし、お知り合いで、関東から県外に進学したい方がおられたら、ご紹介頂けますと大変助かります。

続いて、特別授業では、柔道場を経営する坂東真夕子さん(37期)が「学芸からオリンピックピックに挑戦、その挑戦から得たもの」というテーマで講演し、学芸入学前から現在に至るまでの話で盛り上がりました。最後に「さよならは言わない」を斉唱し、第一部の総会を終了しました。

(36期 藤原清幸 記)

特別授業

学芸から

オリンピックピックに挑戦、
その挑戦から得たもの

坂東真夕子氏（37期）



こんにちは。37期生の坂東真夕子と申します。私は、高知学芸の出身ではありますが、どちらかというと言学芸柔道部の出身と思っています。

【幼少期から学芸柔道部入部まで】

私は、実は高知県人ではなくて、母が徳島県板野郡出身で、父が香川県東かがわ市の出身なので、本籍地は今も香川県で、実家も香川にあります。ただ、父親が国鉄職員で転勤族だったので、各地を点々としながら生活をする状態でした。

小3の時に、やっと高知に足を踏み入れて、学芸から一番近い朝倉小学校に編入しました。小5の時に、黎明塾という学芸推しの塾に入りま

<坂東 真夕子氏 経歴>

- ・高知学芸中学校～高知学芸高校～横浜国立大学（教育学部）～警視庁でオリンピックを目指し柔道に打ち込む。
- ・選手引退後は、警視庁を退職し、株式会社インテリジェンス、ジブラルタ生命保険株式会社で営業職、営業管理職を務める。
- ・2013年8月より株式会社志道館 代表取締役。
- ・主な柔道戦績
 - 1992年：全国中学校柔道大会準優勝
 - 1995年：全国高等学校柔道選手権大会準優勝
 - 1998年：全日本女子学生柔道体重別選手権大会優勝
 - 1998年：世界学生柔道大会準優勝
 - 1999年：イギリス国際柔道大会3位
 - 1999年：全日本女子学生柔道体重別選手権大会準優勝
 - 2000年：国民体育大会優勝
 - 2000年～2002年：東京都女子柔道体重別選手権大会3連覇

した。私はあまのじゃくなんで、「私、土佐受けます」という感じでいましたが、小6の2学期に、初めて受けた模試が大惨敗で、言いにくいですが、しぶしぶ学芸を受けて、無事合格しました。

学芸に入学したのは1990年4月で、5月に柔道部に本入部し、私の柔道人生がスタートしました。

もともと小さい時から、オリンピック選手になりたいと思っていましたが、父が「どうせ世界を目指すのなら、世界に通用する柔道という武道があるのでやってみたら」と、ずっと言われていました。しかし、私自身は、なかなか柔道には気持ちに向かず時が過ぎ、入学前の見学で、

頭の隅にあった柔道部は、父が良いと言っていたな、と思い、入部を決めました。オリンピックピック選手になるという壮大な目標を持って入部しましたが、今思うと、中学から柔道を始めて、しかも地方の進学校で目指すのは、無謀な目標だったと思います。それを当時の体育の門田幸延先生が大らかに受け入れてくださり、目標に邁進しました。

【学芸での柔道環境・工夫・成果】

柔道強豪校と違い、学芸は朝練がなく、放課後は夏は2時間半、冬は下校時間が早いので1時間半しか練習できず、女子部員も中高合わせて多かつた時で5～6人で、私が卒業する頃には私一人でした。そういう環境の中で、自分が工夫したことは大きく3つありました。

一つ目は、柔道そのものの練習時間は強豪校に比べて少ないけど、勝ちたいという気持ちは自分の方が強いはずだし、また勝つためには何が必要なのかという柔道のことを考える時間は、私の方が絶対長いはずだと信じたことです。

二つ目は、自分でトレーニングの本を読んで、自主的にトレーニングをしていました。柔道の練習後、門田先生が指導していた井上道場に行って、週2回程度、自主練習をやっていました。

三つ目は、PDCを回すことです。毎日練習日誌を付け、その日に習ったことや、自分自身の課題、心理状態などを記録します。試合で課題を洗い出して、その課題を意識して練習し、次の試合で、その課題が解消すればチェックしていきます。

そのかいもあり、中学時代の1992年3月に、四国柔道女子体重別選手権大会という、中学生から社会人までが体重別で争う試合で、当時の四国高校チャンピオンに圧勝し、優勝しました。この大会が、バルセロナオリンピック代表選考会の四国予選で、中3の5月にオリンピック代表選考会に四国代表として出場できました。

普段テレビや柔道雑誌でしか見ない、谷亮子さん、田辺陽子さんなどの一流選手と同じ控室で着替え、同じ会場で試合することが凄く印象に残りました。もうこれは本当にオリンピックに行くな、と凄く自分の中で盛り上がり、その3か月後の、全

国中学校柔道大会で準優勝しました。そのまま学芸高校に進学し、高2の春、全国高等学校柔道選手権大会で準優勝しました。

【柔道部の良かった点・学んだこと】

学芸の柔道部で良かったなと思うことが大きく2つありました。

一つ目は、自分で考える余白があったので、自主的に柔道に打ち込めました。これは、監督の門田先生の性格・方針もあると思いますが、基本的なことはしっかり教えて頂きましたが、型にはめなかったです。二つ目が、理不尽な上下関係がなく、のびのびと柔道に取り組めたことです。特に女子が少なかったことで、先輩にもタメ口でしたし、のびのびと楽しくやらしてもらい、柔道部の日々を考えると楽しい思いがします。楽しい思いが根っこにあるからこそ、今、柔道場経営という形で柔道に関わっていますので、凄く大事だと思っています。

学芸の柔道部で学んだことは、環境が全てではないことと、創意工夫で補えるところも十分あることです。環境よりも大事なものは、自分自身の意思と本気度と周囲の人たちの思いですね。

学芸柔道部の6年間は、私の柔道人生、ひいては、私の人生の土台になっていることを凄く感じます。学芸柔道部でなければ、今の私はなかったと思います。

【大学時代・警視庁時代】

学芸高校卒業後は、全日本柔道連盟ジュニアトレーニンングコーチで、横浜国立大学柔道部監督だった木村先生の誘いもあり、横浜国立大学教育学部に入学しました。スポーツ校ではないので、柔道部の練習は週3回程度で、あとは日体大や実業団チームに出稽古に行っていました。そして2000年4月に警視庁に入庁しました。警視庁女子柔道部



全国中学校柔道大会 門田先生・岡林先生と

の監督が放任主義な方でしたので、午前中は警視庁武道館で練習し、午後は、自分たち選手で出稽古やトレーニングをしていました。

そういう意味で、横浜国立大学時代も警視庁時代も、学芸で身に付けた自主性が活きる環境でした。

そんな形で色々工夫しながら練習し、1998年の全日本女子学生大会で優勝することができ、柔道雑誌にも取り上げて頂きました。その年の世界学生柔道大会では、国際大会で初めて準優勝になりました。警視庁では、2000年の国体で東京都の先鋒として優勝することができました。

【柔道選手を引退し、民間企業へ】

警視庁に入ってから、自分が思うような結果を出せなかったですが、「なぜ勝てなかったのか」、「なぜオリンピックに出られなかったのか」となると、理由はたった一つで、自分自身が弱かったというのを、引退する時に物凄く感じました。

柔道としては、結構とんとん拍子でしたが、最後は夢をつかむことが出来ずに終わったことが凄くショックでした。選手を辞める時に、自分が好きなことに打ち込んで、周囲の

人からも応援されながら、幸せな競技人生だったと感じる一方で、凄く大きな挫折感で、心の中にねっとり澱のように残った感じです。

引退する時に直面した問題として、一つ目は、今まで自分の人生の中心になっていた目標がなくなっただけで、自分がやりたいことが何なのか全く分からない状態に陥ったことです。二つ目は、26才まで警視庁の柔道部にいて、その後1年位、女子柔道部のキャプテンとして残りましたが、27才まで競技に打ち込んでしまったため、全く社会人として何もしらない状態だったことです。

問題に直面して思ったことは、自分は今まで一生涯懸命、柔道に打ち込んできて頑張ってきたはずなのに、これまでの人生が否定されているのは凄く悔しいという思いです。早く社会人としての力を付けて、これまでに柔道を通して培った力が社会でも通用するというのを自他ともに認めさせてやろうと決意しました。

警視庁に警察官として残ることはできましたが、私はこういう思いがあったのと、警察の特殊な世界観に合わないと思い、警視庁を辞めました。目標としては、民間の有名企業に勤めてキャリアアップすべく転職活

動を始めました。

こうして、私の第二の人生が始まり、株式会社インテリジェンス（今のパーソルキャリア株式会社）のDUDAという転職サービスのメディアアドバイザーで、求人広告の法人営業を4年位しました。その後、もう一回キャリアアップということで、ジブラルタ生命保険株式会社の吉祥寺支部で営業管理職をやることになりました。

【民間企業から柔道場経営へ】

ジブラルタ生命にいた時に、2012年ロンドンオリンピック後の柔道界の不祥事が出てきて、悲しいけど柔道そのものは悪くないよな、と思いました。

2013年1月に知覧特攻平和会館を訪問し、戦争を肯定するわけではないですが、日本人の教養の高さと精神性の高さを目の当たりにした出来事がありました。

私は管理職だったので、優秀な保険外交員と、そうでない保険外交員の差に対する自分なりの答えとして、今まで生きてきたプロセスは凄く大事なんだろうと感じました。

こういう出来事がありつつ、心から仕事に対する燃えるものがなかつ

たり、仕事上の次の目標が見出せなかったり、柔道引退時の社会に通用する人間になるという目標への達成感があったりと、ガソリンが枯渇したような状況になりました。

そこで自分が今やるべきことを考え、次世代の日本・世界を担う人材を育成するための教育事業をやるうと思ひ、2013年3月末にジブラルタ生命を退職して、株式会社志道館という私の会社を立ち上げて、その年の10月に「文武一道塾 志道館」という柔道場を本格的に始動させました。東京の四谷にあり、今年で11年目で、コロナのことともありましたが、お蔭様で堅調に経営させてもらっています。

道場を通して、「柔道でよりよい日本の未来を作っていきたい」、「子供たちが、将来世の為、人の為に力を尽くせる大人になってほしい」という思いで、毎日指導しています。こういう考えに至ったのも、一番最初に柔道を始めた学芸の柔道部という土台があったからだと思います。

【これからやりたいこと】

これからは高知でも活動したく、学芸の柔道場を使って、学芸こども柔道教室という柔道クラブを作りたい

と思います。学芸の柔道場は広くて立派な道場ですが、これが常設されていることが、私学の強味だと思います。あと、先ほど申し上げたように子供の時の根っこは凄く大事だと思ひ、社会福祉としてではなく、幼児教育としての保育園というものを、柔道を絡めて、高知の自然の中で経営していければと思っていますので、よろしくお願ひします。

最後に紹介したい言葉があります。児童文学者で石井桃子さんという方がいて、「おとなになつてから、老人になつてから、あなたを支えてくれるものは、子ども時代の「あなた」です」と伝えてますが、子供の時の体験が凄く大事だと思います。

あと、嘉納治五郎師範は、今でいう東大を出ていて、当時の大蔵省の官僚になることが決まっていたらしいですが、人間に生まれてきた以上、しっかり後の世に残ることをやりたいということ、「教育のこと、天下にこれより偉なるはなし。一人の徳教広く万人に加わり、一世の化育遠く百世に及ぶ。」と仰っています。一人の教えが、広く万人に伝わって、そして、またその教えがさらに次世代に広まっていくので、私自身も微力ながら、柔道を通して次世代の世

界を作っていく子供たちを育てていきたいと思ひます。今日はありがとうございました。



坂東さんが特別授業で話された、学芸の柔道場を使った柔道教室は『志道館こども柔道教室』として、2024年10月からスタート予定です。この柔道教室では、子どもたちの人生の土台となる【3つの基礎】（体の基礎、心の基礎、頭の基礎）を、柔道を通して育むことを目的としています。詳しくは、左記QRコードから御覧ください。



ありがとうございました

第36回 (2023年)

関東支部同窓会

写真特集

中城新支部長の乾杯で、第2部の関東支部同窓会を開催しました。

高知から関東に引っ越した香南嶺北南国支部の前事務局長の松田恵子さん(1期)によるフラダンスから始まり、橋本校長先生も以前参加された「里山トレッキングクラブ」活動報告、俳優の山元由湖さん(24期)の指導による全員参加よさこい鳴子踊り、4年ぶりの卒業50周年記念品贈呈(12〜15期)、高知ゆかりのお酒や食材などが当たる大抽選会で、楽しいひと時があったという間に過ぎ、全員で「学芸讃歌」を大合唱して終了しました。

関東支部同窓会では、今年から、従来の特定の期が幹事をするのではなく、幅広い世代が幹事を担えるよう「下一桁の期」が担当するなど、新たな取り組みを始めていますので、今後の活動にご期待いただくとともに、次回の総会(今年10月26日(土)に東京都の学士会館で開催)にも奮ってご参加ください。



中城新支部長の乾杯



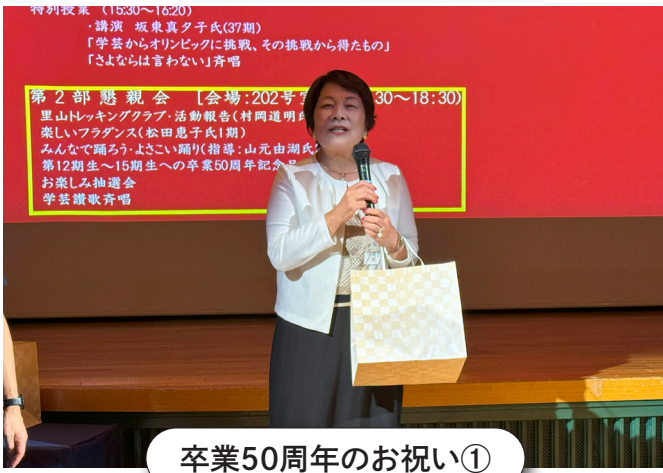
松田さん(1期)のフラダンス

里山トレッキングクラブ
活動報告山元さん(24期)の
よさこい指導

全員でのよさこい①



全員でのよさこい②



卒業50周年のお祝い①



卒業50周年のお祝い②



卒業50周年のお祝い③



卒業50周年のお祝い④



橋本校長先生と



同窓会会場



「学芸讃歌」大合唱①



「学芸讃歌」大合唱②

SPECIAL
インタビュー

サラリーマンから

経営者への歩み

山村章夫氏（4期）

山村さんは、パン製造会社のサラリーマンからゴルフ場経営者となった異色の経歴をお持ちです。経営者となつてからは、コース改造などゴルフ場の価値向上に取り組むとともに、業界でのネットワーク作りも積極的に行い、房総カントリークラブをメジャー大会が開催される名門ゴルフ場に育て上げられました。今回は、山村さんの学芸入学から現在までの興味深いお話を、ゴルフをこころ緒させていただいたことのある関東支部幹事会メンバーがお伺いいたしました。

<山村 章夫氏 PROFILE>

- ・高知学芸高校卒業（4期）
- ・慶応義塾大学 文学部卒業（109回生）
- ・フジパン株式会社に入社し、営業に従事。その後、創業家が経営する富士カントリー株式会社関東事業部に異動し、営業に従事。のちに関東事業部長に就任。
- ・富士カントリー特別清算に伴い、株式会社房総カントリークラブの社長に就任（現在、顧問）。就任後、コース改造に取り組み、2018年に日本プロゴルフメジャー大会の一つである第86回日本プロゴルフ選手権大会を開催。2027年に第92回日本オープンゴルフ選手権開催予定。
- ・房総カントリークラブホームページを紹介します。



◆学芸高校から慶応大学へ

高知中学で数学の先生から「お前なんか高校に上げてやらない」と言われ、学芸の入試を受けることになった。高知中学と学芸の違いは、学芸は共学というところだけだった。

先生にはいろいろご迷惑をおかけした。担任の村岡先生（村岡前校長先生のお父様）には、よく応接室で首根っこを掴まれて「またお前か」と言われていたが、卒業してからはしばらく年賀状のやり取りなんかして親しくさせていただいた。先生のご子息が学芸の校長になって、我々が城西館で同期会をやっていると、隣で「ご子息がやはり学芸の同期会か何かをやっているよ」と。学校へ行ったら、

かをやっているよ」と。村岡先生の息子が来ているぞ」という話になり、村岡前校長先生に「父親に世話になつたぞ」とつてね（笑）。

学芸高校卒業後、早稲田大学商学部は補欠だったから浪人して、慶応大学文学部に入って卒業したけど、進級は危なかったんだよ。慶応は語学を1科目でも落とすと進級できないので、先生の所へウイスキー持って行って門前払いされたり、先生の行きつけのバーに毎晩通つて、バーのママが先生に「毎日来て先生待ってたんだから何とかしてあげてよ」と言ってくれたこともあったね。

◆慶応大学からフジパンへ

親父は漁船を日本で作り、漁師と船員を連れてブラジルに行つて指導、その漁船を売って日本に帰つて来るといふ会社を経営していたけれど、船員が現地の女性に貢いだりして家にお金を送らないので、船員の家族には会社から生活費をずっと渡していた訳だよ。親父も5、6年やっていったんじゃないかな。それで会社が潰れたものだから、親父から「お前就職しろ」と突然言われて、「冗談じゃない、就職シーズン終わっちゃってるよ」と。学校へ行ったら、

就職募集中の会社にフジパンと大塚製菓があった。大塚製菓は初任給が2万8千円、フジパンは3万円だった。フジパンに入社したが、後で知ったのはフジパンは残業代込みで、大塚製菓は基本給だったんだよ。そんなの後の祭りなので、フジパンで楽しくやっていたよ。

フジパンは、俺の入社の前年あたりには東京工場を作ったので、我々は東京工場が出来て初めての新入社員だったと思う。フジパンに入社から半年くらいは、パンの配達をトラックに乗ってやった。その後、飛び込み営業。山崎パンや第一パンなどの看板を降ろさせて自社の看板にする。そういう営業を1、2年位やっていたのかな。

◆急な転勤で、遅れて昇格

そのころ、埼玉の人間に武蔵工場が出来た。「お前は今日中に武蔵工場に行け」と言われて、車に布団を積んで、武蔵工場の知人に電話して道を聞いて、とにかく走って夜に武蔵工場に何とかたどり着いた。それから1年後に、本場で「山村は東京工場に籍があるのに居ないじゃないか」という状態。2年目くらいの時かな、係長の試験も俺は東京工場に

居ないのでパスだよ。同期はみんな係長になったのに。それから2年後、東京工場の工場長に「お前は何でまだ平社員なんだ？」って聞かれて、「いや知らないけれど、みんな係長になっっているな。係長にならなくてもいいから、給料上げて欲しい」と言ったら、「ダメだそれは。ちゃんと試験を受けなきゃいけない」ということがあった。それで、武蔵工場から東京工場の人間として正式に戻ることに、試験を受けて係長になった。

◆工場長と喧嘩してゴルフ場へ異動
フジパンで10年勤めた後、富士カントリー関東事業部へ異動。結構人数がいたけれど、フジパンから出来の悪い者をみんな追い出したんだよ。

自分の場合は、部下で年上の先輩のボーナスが安いので上げてあげたいという件で工場長と喧嘩した。最終的に駄目だと言うから「自分のボーナス削って、その部下のボーナスに充ててくれ」と、絶対譲らなかつた。それで、事業部長から「お前カントリー行け」と言われた。

ゴルフ場に行つてからは会員権販売の営業をやった。千葉の房総、ゴルフ

場ができて2、3年後には茨城の笠間クラブができたので、この2か所の会員権の販売をした。これが1978年頃で、ゴルフ場がほとんどでき始めた頃で、フジパンは創業家が兄弟喧嘩をしないように、兄はパン屋、弟はゴルフ場をやりなさいということ、弟はユニーと組んでゴルフ場を始めた。

自分がゴルフを始めたのはゴルフ場に異動になってからで、自己流でやったからシングルまでは随分と遠回りした。銀行のゴルフ同好会メンバーが40〜50人いて、その中のトップクラスの人たちと一緒に、月4回ぐらいはラウンドした。それでハン



インタビューする中城支部長

ディキャップが7になったんだよ。何年かかったか余り記憶にないけれど。うちのグループのゴルフ場が関東に7つか8つあったので、そこでやってたね。

◆ゴルフ場の経営危機

ホールディングカンパニーの富士カントリーが、平成16年に特別清算になり、その時に関東事業部長だったから大変だった。富士カントリーグループで、会員権が株式だったところは、関東では房総と笠間、中部では可児と明智。その他の17箇所は預託金だったから全部あちこちに売った。

関東では房総と笠間の2つ残る訳だが、この時の人事はできるだけ公平にやった。普通は自分が残る所へ良い人材を集めるけれど、それはやらなかった。公平にして、それぞれみんなに「ここでもいいのか、この社員でいいな？」って確認した。それで特別清算した。

経理担当部長が「笠間の方が良い」というので、自分は房総に移った。最初は社長ではなく代表取締役。実際に経営するのは自分な訳なので、何年か経つて代表取締役社長にしてもらった。特別清算なので、裁判も

経験しているんだよ。債権者には吊るし上げられたね。テレビと同じだなと思って。「君が印鑑持ってたんだらう？」、「君が印鑑押したんだらう？」など、向こうの弁護士に責められてもへっちゃらだった。

特別清算の前に売った預託金の償還が来ると大変なことになるので、17%で買い戻すだけの資金はあったため全部交渉して買い取り、ほとんどなしにしちゃった。裁判だ何だと色々なことを債権者に言われることより、これが一番大変だったよ。

◆攻めのゴルフ場経営

サラリーマンから経営者になつて、一生懸命利益を出そうと頑張った。その時期、周りのゴルフ場は、コース改造なんていう先行投資には全く経費を使わずに、守りの経営ばかりしていたから、俺はここは攻める時だぞ、と思った。

そこで、ゴルフコース設計者の海津さん(海津康志氏)にあるパーティで会った時、仕事がなくて大変だと言つたので、房総カントリークラブのコース改造をお願いして、結果的に房総の会員にも受け入れられたのかな。

ごく最近の話だけど、会員権は

25万円とか15万円で、名義変更料が百万円なんだが、それで月に3、4人入会する。コースを改造する前は名義変更は年に2、3人だったかな。名義変更料が百万円で会員権が15万円だったら、この仕組みおかしいと思うじゃない。それで、周りと同じにいつまでもやってちゃ駄目だろうと、コース改造して価値を上げていかなないと、思った訳だ。

そのための日本プロゴルフ選手権大会開催(2018年)だった訳だよ。客単価もちよつと上がって来て、そういう成果がやっと出てきたのかなど。そこらへんかな、サラリーマンとして会員権を売ってなんぼとか言ってる競争してた時と考え方を変えていったのは。

◆メジャー大会の招致活動

倉本昌弘プロ(当時はPGA会長)とは、2018年の日本プロゴルフ選手権大会を房総カントリークラブに招致する際に知り合ったが、これがゴルフ場のグレードアップに繋がった。今度(2027年)、房総カントリークラブで開催する日本オープンゴルフ選手権は、ゴルフトーナメントプロデューサーの戸張さん(戸張捷氏)との繋がりで開催

することになった。彼とは色んなところで会っていて、109(慶応義塾大学109回生の同期でもあったので「自分のところも一回見に来てくれ」と言っていて、10年位経って来た訳だよ。それで「日本プロもこの前やったんだぞ」と言ったら、「日本オープンやるよ」と。

それ以前も、うちのグループだった出島ゴルフクラブで、戸張さんと同期の友達3人でゴルフをやった時「ここで女子の二軍戦をやらせてくれ」と頼んだところ「いいじゃないか」となって、それが彼と知り合った最初のきっかけ。その後、あちこちで彼とは会っているが、JGAの専務理事から、戸張さんが日本オープン開催地決定の実権を持っていると聞いたので、彼に房総カントリークラブを見に来てくれと言って日本オープン開催が決まった。

だから業界のパーティに行った時は、めばしい人の所に行つてロビー活動をしている。この前、JGAの会長になった武蔵カントリー倶楽部理事長、東京製鐵元社長の池谷正成氏は、戸張さんとゴルフ部の同級生。何かの会合で「房総カントリーを覚えておいてくれよ。自分は109の同期だぞ」と(笑)。



房総カントリークラブ房総ゴルフ場 西コース4番ホール

ゴルフは初めての人と回るのが好きで、一緒に回るとすぐに性格が分かるからね。次に誘うのはあいつだな、あいつはダメだよ、となる訳だ。それは向こうもそう思っているだろうし。それでだんだんそういうのがある程度ある繋がりがずつとできていくんだよ。

◆学芸の後輩へのメッセージ

自分が実際に営業をやっていた関係で、人よりも1日1時間多く働いた。それだけだな。それと、やっぱり人に恵まれた訳だ。友達とか年下の連中を大事にするだけじゃなく、怒る時は怒ってきちつと指導し

てやるというのかな。

◇インタビューを終えて

山村さんが人生の所々で起きた修羅場を乗り越え、人生を切り拓かれたことが印象に残ったので、修羅場を乗り越える秘訣についても伺いましたが、「仲間だとか、同期だとかは、いじめてないんだよな。とにかく、仲良く、面倒をみて。だから人に恵まれたんじゃないかな。」と仰っていました。

ゴルフの話も伺いましたが、山村さんは日本の名門コースは全部制覇し、世界の1番から3番の名門コース(1番はフィラデルフィアのパイナプレーゴルフクラブ、2番はカリフォルニアのサイプレスポイント、3番はスコットランドのセント・アンドリュース)にも行ったそうです。

なお、右上の写真にある段々畑のようバンカーは「絶対に前に出せないバンカー」ということで、山村さんの指示で作ったとのこと。皆さんも山村さんと一緒にゴルフをしてみたいありませんか?

(インタビュー：中城千秋(18期)、前田泰志(30期)、上村泰史(30期)、西田順也(31期)、編集：藤原清幸(36期))

各期の声

日々の運動を通じて

健康でいよう

31期 西田順也



皆さん、こんにちは。31期の西田順也です。7月末に夫婦2人で富士登山に行ってきました。

私は今回で富士登山は3回目。2016年に富士山に登ろうと思いい、その練習の意味で陣馬山、高尾山の縦走、大山、筑波山、御嶽山、雲取山など関東の山々のトレッキングを始めました。同窓会関東支部のトレッキングクラブにも何度かお邪魔させてもらいました。

最初は私とトレッキング友達とで出かけていましたが、今年の5月から妻がトレッキングに興味を示しはじめ、それから妻のレインウェア、トレッキングシューズ、トレッキン

グパンツもろもろを買い集めて、隣の高尾山でトレッキング練習を重ねた後、いよいよ今年の7月に登山ガイド付きバスツアーで富士山に行ってきました。

7合目まで順調に登っていく妻を見て、「これは登頂できそうだな」と思ったのも束の間、8合目あたりで妻に高山病がでてしまいました。もともと予定していた8合目の山小屋泊をもって山頂は諦め、翌朝8合目でご来光を見て下山しました。朝には妻の高山病は嘘のように回復していましたが、来年リベンジを誓って清々しい朝を堪能しながら下山。天気も良く、妻にとつて少し残念でしたがいい体験になりました。

富士登山をきっかけに始めたトレッキングですが、それとは別に2020年から毎日のウォーキングと食事の記録をとることでダイエットに励みました。いわゆるレコーディングダイエットです。



ウォーキングは雨が降らない限り

毎日4キロ歩きました。食事はミネストローネを大きな鍋に約1週間分作り置きして、朝はトースト（10枚切りを1枚）とフルーツ。昼食はそのパンでチキンやハム・チーズを挟んだホットサンドとミネストローネ、夕食は家族と同じものを、ただし白米は無しで。自分の身長と体重と年齢から計算した必要な摂取カロリー内に収めた食事にするだけ。記録や計算は大変ではありません。健康管理のスマホアプリ（あすけんやMyfitnesspalなどいろいろあります）をつかえば、年齢・性別・体重から必要な摂取カロリー

を算出してくれますし、食べたものの記録も簡単です。

その結果、2020年7月に85キロだった体重が、2021年の2月には70キロまで落ちました。なんと7ヶ月で15キロの減量！記録してわかったことは、いかに自分が必要以上に飲み食いしているか、ということでした。取得するカロリーと消費するカロリーの差で、太りもするし痩せもするという単純な原理です。それを見える化することが重要ななというのが感想です。高いお金を出してジムに通う必要はありませんでした。

減量しようと思ったきっかけは、とあることから「80歳の時に妻に余計な負担をかけないよう、自分の足でしっかり歩いていられる状態になりたい」と思ったことでした。これは当時50歳だった私の30年計画です。これから今の体重と、足腰の強さをキープしていく長い計画です。現在は、ウォーキングよりも消費カロリーが多いスイミングに変えており、週3から多い時は週5で市民プール（1時間200円）に通っています。これからも日々の運動を通じて80歳まで健康な体を維持したいと思えます。

思い出の日々

35期 若木(片岡)彩子

35期の若木彩子(旧姓 片岡)。千葉県在住。書家の高野早苗先生に師事。墨下會・独立書道会・墨華書道会・日本詩文書作家協会等に所属し、関東を中心に活動しております。卒業して30年、《同期の声》の案内で改めて、当時の事が思い出されて来ます。

中学では、尊敬する佐々木康子先生の授業で、漱石の「草枕」の冒頭『智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。兎角に人の世は住みにくい。』に出会い、とても感銘を受けた事、ステキな担任の島本泰志先生に憧れた事、道願正美先生のもとで剣道部員として部活に励んだ、多少反抗期の女生徒でした。

高一の時「脳髄膜炎」を患い、九死に一生を得ます。剣道で体力をつけていた事が幸いしたと、主治医の山下茂先生より伺いました。

命は助かりましたが、沢山の記憶を失い、大学受験控え絶望の日々。高校担任の堀川定満先生、池省三先生、保健の峯友和代先生には、御心配と御迷惑をお掛けしました。

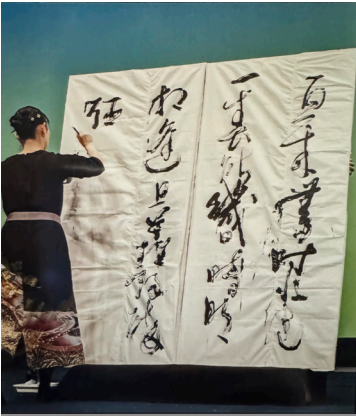
学業に失望する中、母の勧めによ

り、幼少より親しんでいた、書家の藤田紅子先生の書道教室に通い、高知県内や全国書道展覧会にて受賞させて頂き、書の道に没頭しました。

結婚や出産で生活環境が変化した時、地震災害やコロナ等の辛いニュースに心が沈んでしまう時、書道が支えとなりました。「草枕」の何処へ越しても住みにくいと悟った時、詩が生れて、画が出来る。』という言葉に納得し、励まされています。

最後となりましたが、困難に直面した時は、金木犀の香りに包まれた学芸の校舎と、諸先生方、友人達の笑顔を思い出します。この場を御借りして、全ての皆様に心より感謝申し上げます。

《写真の解説》詩吟の先生が、尺八の音に合わせて漢詩を吟じている言葉に同じくし、屏風に書を書いてゆくというパフォーマンスです。



2023年 渋谷区民文化祭「書道吟」

あさかぜでは、「各期の声」に投稿していただける同窓生の皆さんを募集しています。日本全国から関東支部の皆さんに近況をお知らせいただける方は、31期西田まで。
junya.nishida@gmail.com



16期生卒業50周年の
お知らせ

16期 國藤直子



「卒業50周年」電話で原稿を依頼されて、驚きました。16期のみなさんは自覚がありますか？私は自身の会社で、現役で仕事を続けているため、日々の仕事に追われ過去を振り返る余裕ありません。

コロナ禍によって同窓会総会から遠のきましたが、同窓会って貴重なイベントだな、と今回改めて思いました。当たり前ですが、出席者全員が高知学芸高等学校の卒業生！学校に通っているころには意識しませんでした。同窓会とは「自分の歴史をたどること」でもあるなと思います。勉強に、クラブ活動に、頑張っていたあの頃。今も飲みながら語ることができる一生の友を得たこと。姿形は変化はしたけれど、気持ちはずっと変わらない、そんな自分を褒めてあげましょう。16期のみなさん、同

窓会総会関東支部で50年分の思いを、土佐弁を駆使して語り合いたしましょう！

10月10日までに「参加」のお返事を頂いた16期の皆さんには、記念品をご用意いたします。(事務局)

懇親会への
景品寄付のお願い

懇親会の景品につきましては、同窓会の皆様から募ろうということになりました。ご寄付をお願いできると幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

なお、ご寄付いただける方は、左記のとおり、24期岸本までご連絡をお願いいたします。

・希望する景品

できれば食事券、商品券等の金券、あるいは各種チケットを希望します。

・景品のご提供

総会当日、受付まで持参ください。

・連絡先

岸本伸幸 (24期)

090-3538-9820

tokugawa1603@jcom.zaq.ne.jp

・備考

ご連絡の際は、景品内容(商品名、金額、件数等)についてご記載ください。また、右記以外の景品をご提供いただける場合は、その旨ご連絡をお願いいたします。

(24期 岸本伸幸 記)



高知学芸高等学校同窓会関東支部 会計報告

(期間：2022.10.1～2023.9.30) 2023.10.12

区分	項目及び概要	金額(円)
【収入の部】	1.前期繰越金	1,124,273
	2.第35回(2022年)総会参加費	0
	3.年会費・寄付 ・年会費振込(120,000円) ・寄付(212,277円)	332,277
	4.祝金	0
	5.銀行利息	8
	収入・計	1,456,558
【支出の部】	1.第35回(2022年)総会関係 ・会場費(0円) ・雑費・交通費(0円) ・幹事会会場費等(9,500円)	9,500
	2.案内状印刷・発送 ※「あさかぜ36号」は幹事会制作・オンライン発行のため無料	286,920
	3.関東高知県人会(含む振込料)	5,605
	支出・計	302,025
【残高】	次期繰越金	1,154,533

〔同窓会年会費のお願い〕
関東支部では、「あさかぜ」のオンライン発行化や案内状印刷・発送の効率化等に取り組んで支出を抑制していますが、年会費収入は苦戦が続いています。今後も永く同窓会活動を継続するためにも、年会費振込を何卒よろしくお願いたします。(事務局)

第37回関東支部総会

特別授業の講師紹介

Studio Art Lab. 主宰

丸本真代氏(24期)



造形作家、Ms palette 代表、2級臨床美術士・芸術造形研究所講師、元女子美術短期大学・亀田医療大学講師。臨床美術学会・美術教育学会に所属。

【臨床美術士としてのこれまで】

- ・凸版印刷社内でのリフレッシュ講座
 - ・埼玉県生きがい大学講師
 - ・リハビリテーション病院でのクリニックアート(都立神経病院で初めて物忘れ外来をつくった宇野正威先生の外来患者対象)
 - ・高齢者施設でのリハビリレク
 - ・公立小学校での総合学習指導
- 【学会発表・講演会など】
- ・臨床美術によって自己肯定感を高める
 - ・臨床美術というコミュニケーションによって居場所を作る
 - ・総合的学習における美術教育の可能性
 - ・幼稚園課外活動としての臨床美術
 - ・現場を繋ぐ臨床美術士の役割

同窓会関東支部 役員・幹事名簿

	役職	期	氏名
役員	支部長	18期	中城千秋
	副支部長	22期	中市川浩幸
	副支部長	30期	前田泰志
	会計	29期	西谷雅史
	監査	28期	谷本拓明
	顧問	6期	石川本川

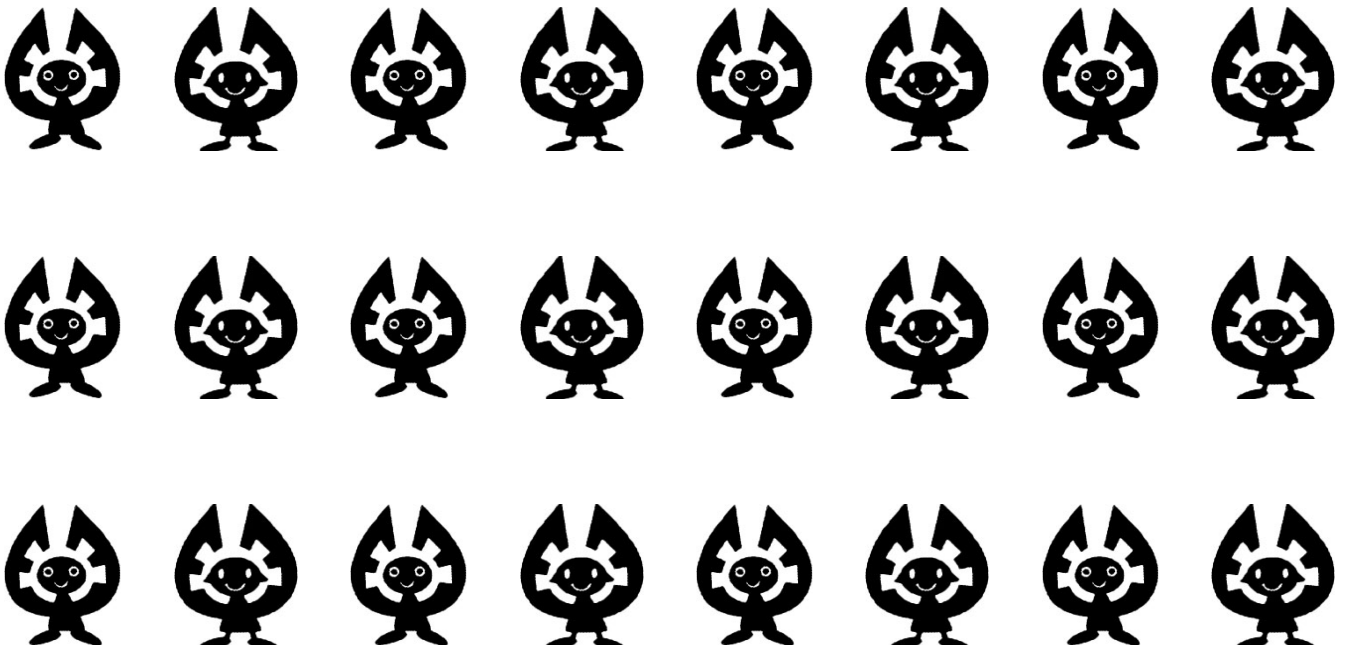
	役職	期	氏名
常任幹事	機関誌編集	23期	伊野部京子
		31期	西田順也
		36期	藤原清幸
		41期	坂東千沙
	HP管理	30期	上村千泰

期	氏名(旧姓)
1期	見野昌宏
2期	津川武夫
3期	細川律彦
4期	安藝(大谷)孝彦
5期	多田恵明
6期	石川一男
7期	佐野野正
8期	本本初洋
9期	依川光志
10期	依川内藤三忠
11期	依川内藤村
12期	依川内藤野村
13期	依川内藤野城
14期	依川内藤田
15期	依川内藤森

期	氏名(旧姓)
16期	濱崎一彦
17期	國加藤直隆
18期	中城(森本)千秋
19期	南(前田)園子
20期	種澤(前田)園子
21期	山崎章浩
22期	市野部京子
23期	伊野部京子
24期	伊野部京子
26期	木野部正一郎
27期	宇野部正一郎
28期	岡谷拓郎
29期	西谷雅史
29期	和田英

期	氏名(旧姓)
30期	前田泰謙
30期	西友田順一
31期	西友田順一
32期	西友田順一
33期	池井(市原)作卓
35期	林直孝
35期	藤原裕清
36期	藤岡野坂中
36期	岡野坂中
37期	坂中東山
38期	坂中東山
41期	坂東千沙
42期	坂東千沙
43期	坂東千沙

期	氏名(旧姓)
43期	土田由紀
44期	松坂由雄
50期	山本憲二
50期	山本優太郎
53期	岸本拓磨
54期	高山本橋理
54期	高山本橋理
56期	池田美結
56期	池田美結
57期	池田美結
57期	池田美結
64期	池田美結



同窓会会員各位

2024年9月吉日
高知学芸高等学校同窓会関東支部
支部長 中城 千秋

高知学芸高等学校同窓会関東支部 第37回総会のご案内

10月26日(土)に第37回総会を学士会館にて開催しますので、ご参加をお待ちしております。

- 日 時：2024年10月26日(土)15時～18時30分
- 場 所：学士会館(神保町)
〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28 TEL.03-3292-5936
- 学士会館へのアクセス：
 - ・「都営地下鉄三田線」「都営地下鉄新宿線」「東京メトロ半蔵門線」【神保町駅】下車、「A9出口」徒歩1分
 - ・「東京メトロ東西線」【竹橋駅】下車、「3a出口」徒歩5分
- 会 費：当日会費 7,000円 (54期～：5,000円、学生：2,000円)

式 次 第

開 場 (受付開始)	14:30～
総 会 (活動報告、会計報告等)	15:00～15:30
特別授業 丸本 真代 氏 (24期) 「アートで心をさがす」	15:30～16:10
懇 親 会 (立食パーティー)	16:30～18:30

- 出欠の連絡：

右記のQRコード、または同封の返信用ハガキからご出欠をご連絡下さい。
郵便費用の削減のため、極力QRコードからの連絡にご協力ください。
返信用ハガキ投函、QRコードからの連絡の期限は10月10日(木)までです。



- 会費の支払：

事前オンライン決済での支払い(右記のQRコード)、または当日受付での現金払いです。事前オンライン決済では、年会費込みでお支払いできます。
受付業務の効率化のため、極力、事前オンライン決済にご協力ください。



<年会費(2,000円,学生無料)支払いのお願い>

事前オンライン決済(上述)、銀行振込(下記)、郵便振込(同封振込用紙)でお願いします。
三井住友銀行 上野支店 (779) 普通預金「8224917」
「高知学芸高等学校同窓会関東支部 会計 西 雅史」

<関東支部からの情報発信>

- ◎関東支部ホームページ (<http://kochigakugeikantoob.web.fc2.com/>)

関東支部主催イベントのご案内、会員同士の交流のお知らせ、「あさかぜ」のバックナンバー等、ご覧いただけます。
総会・懇親会の出席連絡も簡単な操作で可能です。

- ◎関東支部公式Twitter (アカウント名：@kg_kob)

ホームページの更新や関東支部からの情報を広く皆様へ発信してまいります。フォローをお願いします。

- ◎関東支部Facebookグループ (非公開グループ：高知学芸高校同窓会関東支部)

会員同士が自由に情報を発信して交流を図っています。ホームページの更新等も確認できます。Facebookでグループ名
高知学芸高校同窓会関東支部を検索し、グループに参加して下さい。既存メンバーに承認依頼するとスムーズです。



関東支部ホームページアドレス

<http://kochigakugeikantoob.web.fc2.com/>
